

MTR 高速鉄道823B工区 セッコン停車側線及び 緊急救出待避線工事



前田建設工業株式会社 香港支店 MTR3B工区作業所 所長

花田 紀明

Noriaki Hanada



大帽山よりプロジェクト全体を撮影



緊急救出待避線より地上を撮影



手前：緊急救出待避線
中段：車両基地（8線分）修理用車庫（4線分）
上段および右部：各種管理棟

香港の紹介

香港は一九九七年七月一日、一五六年間続いた英国による植民地支配から解放され中国へ返還された。そして返還後五〇年間は返還前の制度を保持し本土と異なる行政・法律・経済制度の維持が認められる「一国二制度」の原理の下、中国で初の特別行政区になっている。一、一〇四平方キロメートルの面積に七二〇万超の人口を有する世界有数の人口密集地域であり、また年間に約二、八〇〇万人の外国人旅行者が訪れる世界有数の観光都市である反面、世界屈指のビジネス拠点としての金融都市の顔も併せ持つ。しかしながら、二〇一七年に実施予定の香港特別行政区行政長官選挙に関して、中国共産党の介入により高度な自治が損なわれつつあることへの抗議活動「雨傘革命」が起き、その規模は学生を中心として約五〇万人まで膨れ上がった出来事は記憶に新しい。

プロジェクトの紹介

広深港高速鉄道（Guangzhou-Shenzhen-Hong Kong Express Rail Link）建設工事は、中国広東省の広州市から深圳市を経由して香港特別行政区の西九龍総駅に至る高速鉄道で、中国区間が広州（福田）間の一〇六キロメートル、

工事概要

主たる工事は鉄道トンネルと地上の停車場及び関連設備の構築であり、その工事エリアは広大で約二七キロメートルにもなる。地中連続壁による開削工法で全長一、二〇〇キロメートルの鉄道トンネル本線と本線から地上へと続くアプローチトンネルの両方を施工している。

また地上部ではオフィスビル・運行制御ビル・修理用車庫・車両洗車ビル・変電所など大小一二の路線管理施設に場内周回道路四・五キロメートル及び防音壁一・八キロメートルを施工する。付帯工事として、既存河川の改修工事、場内を横断する



当プロジェクト位置図。カオロン側繁華街中心地から地下鉄とバスの乗り継ぎで約70分ほどに位置する新界エリアの農村部

香港区間が二六キロメートルの全長一三二キロメートルとなっている。中国区間は二〇一五年十二月に全線開通しており、香港区間は現在建設中で二〇一八年の第3四半期に開通する予定である。香港区間での予定運行速度は時速二〇〇キロメートルで、中国区間での予定運行速度は将来的に時速三五〇キロメートルを目指している。また現在、香港と広州間の在来線による所要時間は一四十分だが、当高速鉄道が全線開通すると四八分に短縮される予定である。今回紹介する当社施工の823B工区は香港区間のほぼ中央に位置し、人口密集地香港とは趣の異なる農村部及び郊外住宅地が作業エリアとなっている。

国道の切替え工事及び自然保護区三・二キロメートルの整備も含まれる。その工事量は膨大で、例えば総掘削土量は一二〇万立方メートル、躯体コンクリートは二二万立方メートル、地中連続壁コンクリートで一〇万立方メートルに達した。

契約工期は二〇一〇年十月から二〇一六年五月までの六七カ月に加え一二カ月の瑕疵保証期間となっており、地元の中国建築工程（香港）有限公司とJVで施工にあたっている（隣接工区823A工区も同JVで施工）。

終わりに

一九六三年に当社にとって初めての海外工事受注となった地が香港であり、それ以来、香港では数多くの大型インフラ工事に携わる機会に恵まれ、当工事も当社の歴史の一ページに確実に刻み込まれるプロジェクトである。過去の工事と同様に当工事においても数々の難題やトラブルに直面したものの、その度に工事関係者の知恵と工夫と努力により克服してきたが、この事実やそこで得た知見は必ずやすべての工事関係者の記憶に刻まれ、また近い将来、当高速鉄道を利用する人々の夢や希望も共に運ぶことができれば正に技術者冥利に尽きる。竣工までもうひと踏ん張りし、全員で美酒を酌み交わす日を心待ちにしたい。